

湖西大学への交換留学 11 月

11 月に入り気温が大きく下がったため、2 週目に体調を崩して病院を受診したところ、インフルエンザと診断されました。事務の先生が車で近くの病院まで連れて行ってくださいました。1 週間授業を休むことになりましたが、その間は隔離などなく、普段通り自分の部屋で過ごしました。食事は、同じ留学生の日本人メンバーや同室の韓国人の方が毎日お粥や飲み物を買ってきてくれて、とても助かりました。薬を飲んで安静にしていたおかげで、1 週間後には無事に回復しました。

3 週目にはバディと一緒に水原を訪れました。百貨店の中にある有名な図書館を見学し、その後チムジルバンに行きました。チムジルバンは日本の銭湯に似た施設ですが、日本より設備が充実しており、食事や飲み物の提供、さまざまな種類の岩盤浴やサウナを楽しむことができました。

11 月には、2 つの授業で発表がありました。1 つ目は、月曜日に履修している「マーケティング入門」の授業で、韓服体験イベントを開催すると仮定し、その運営方法や企画内容、集客方法についてチームで考えて発表しました。私は体調を崩して授業を 2 回休んでしまったため、あまりチームに貢献できなかったことが心残りです。2 つ目は、水曜日の「韓国文化」の授業で、母国の代表的な食べ物について韓国語で紹介するという課題でした。私はお寿司をテーマに、PPT を使って発表しました。しっかり準備したつもりでしたが、発表中に言葉に詰まってしまう場面もありました。それでも、最後まで何とかやり遂げることができました。

最後の週に、日本人の男友達と 2 人でソウルに行きました。私たちは韓国人 2 人、日本人 2 人のバディメンバーなのですが、以前からお世話になっている韓国人 2 人に、これまでの感謝の気持ちを込めてプレゼントを渡したいと考えていたため、その買い物のためにソウルを訪れました。2 人が喜びそうなものを無事に買うことができ、お昼には美味しい焼肉も食べられたので、とても良い時間を過ごせました。

今回は、もうすぐ終わってしまう留学生生活を振り返ってみたいと思います。今学期は前期と比べて、時間の流れがとても早く感じます。前期にできた友達や、新しくできた友達、バディの仲間、そして同部屋の方のおかげで、不自由なく過ごすことができます。前期は生活に慣れるまで時間がかかり、「日本に早く帰りたいな」と思うことも多かったのですが、今では「もう少しここで生活したい」という気持ちになっています。仲良くなった人たちとお別れしなければならないのが、何よりも悲しいです。残りの留学生生活を悔いなく最後まで楽しみたいです。

